

働きがいへの想い－協力会社との連携

戸田建設のものづくりは数多くの想いによって支えられています。働きがいのある職場環境づくりのために、協力会社と一体となった取り組みを推進しています。

ものづくりへの真摯な想いが
ひとつになれる場をつくりたい。



東京支店 建築安全部長
伊原 広和

生産性の向上を支える当社独自の「職長会」

建築物は、一般的に約30職種、40社以上の協力のもとにつくり上げられていきます。各作業所でこれらの職種もしくは協力会社ごとのリーダーを務める「職長」は、戸田建設のものづくりの要とも言える存在です。

「作業所の生産性を高め、高品質で安全な施工を推進するためには、職長同士のコミュニケーションが非常に重要になります」

そして、そのコミュニケーションの場となるのが、各作業所ごとに結成する「職長会」。伊原は作業所業務に従事していた2003年頃から、職長が集う交流会を通じて作業所における職長会の意識向上に取り組んできました。

「交流会で知り合った職長たちと、どうしたら働きがいがあるか、元気で明るい作業所運営ができるかをずっと話し合ってきました。そんな中から生まれたのが東京支店管轄の各作業所の職長会を連携させた、より大きな職長会をつくるという考えだったのです」

こうして2008年に設立されたのが「東京職長会」。あらゆる情報を共有し改善を重ねながら、お互いの発展に寄与することを目的として、160名体制の活動が始まりました。同様の活動は国内全支店に広がり、現在の会員数は全国で総勢793名。これほど大規模な職長会は他社にはなく、当社独自のものです。

社員も職長も一緒に意見をぶつけ合える場づくり

職長会の入会にあたっては独自の認定制度を設けており、会員となった職長は青色に金ラインが入った専用ヘルメットを

被ります。その青いヘルメットは、職長たちの誇りを象徴しているのです。当社では、職長たちの想いに応えるために、独自の奨励賞や優良技能者手当制度を設けるなど賃金改善にも努めています。

「ものづくりへ寄せる想いは、作業所で働く誰もが一緒。職長会をさらに発展させて、職長も社員も一緒になって意見をぶつけ合うより良い現場にしていきたいと思っています」

職長の声



シャインズ(株)
寺本 芳治氏

われわれが目指すのは作業所の空気を変えていく職長会。そのためには、戸田建設と協力会社の積極的な参加が必要であり、「東京職長会」の発足は深い意義があると感じています。

「東京職長会」は、単一作業所内の活動ではできなかったほかの作業所の職長会とのコミュニケーションがとれる場です。ここでの活動を通じて個人の成長を促し、自分の作業所で力を発揮することが一番大切であると思います。自分自身も誇りと自覚を持ち続け日々頑張りたいと考えています。

ホームページで詳しく紹介しています

▶ 安全で快適な職場環境の実現
<http://www.toda.co.jp/csr/human/safety.html>

▶ 協力会社とのパートナーシップ
<http://www.toda.co.jp/csr/human/partnership.html>

働きがいへの想い－社内の意識改革

働きがいがある、元気で明るい職場環境づくりの基本はコミュニケーション。社員自らが主役となってさまざまな取り組みを進めています。

丁寧な説明を繰り返し、
エコ意識の改革に
取り組んでいます。



本社 建築工務部
久原 貴代

東京支店 総務部
一寸木 絢子

本社 経理部
小幡 恵子

本社 土木企画部
鈴木 麻友

本社 総合企画室 主任
富田 多加子

千葉支店 建築工務部
櫻井 剛史

女性社員が主体の「ECO・リーダープロジェクト」

戸田建設では、オフィス内でのエコ活動・エコ意識の向上のために「ECO・リーダープロジェクト」を進めています。その特色は、女性のメンバーが主体となった、ボトムアップからの取り組み。代表6名に活動の内容と成果を振り返ってもらいました。

小幡 まずゴミのリサイクルということで、これまでも行っていた分別回収を見直してさらに徹底しています。オフィス内にエコステーションを設置して、点在していたゴミ箱を集約しました。特に全体の80%を占める紙系ゴミについては5種類に細分化しリサイクルしています。その結果、年間で約85%のコスト削減を見込んでいます。

久原 さらにリデュース活動としては、各社員にマイカップ、マイ箸を持参してもらい、社内で使用していた紙コップや割り箸を全廃しました。コーヒーなどの自販機もマイカップ対応のものに替えています。また、マイハンカチを使ってもらうようにして、トイレのジェットタオルも2010年10月に撤去しています。

鈴木 事務用品のリユースを推進するために、従来からあったリユースコーナーを大幅にリニューアルしました。扱う品目を増やしたほか、エコ情報を紹介したり作業服のリユースを検討しています。

櫻井 オフィス内の温度を下げるために、屋上でゴーヤを育てるなどの緑化にも取り組んでいます。また、地元の小学生を対象に見学会を開催するなど、地域社会とのコミュニケーションでも一役買っています。

意識の改革とともに、ECOからCSRへ広がる活動

プロジェクトが発足したのは2010年7月。スタート当初はいろいろな難題もありましたが、1年が過ぎた現在、社内のエコ意識も高まり、メンバーのみんなは確かな手応えを感じています。

一寸木 初めてのことも多く、活動をどのように推進していくか、社員の理解をどう得ていくか、メンバー内で何度も話し合いました。社長からは「環境については地球も当社も時間が無い、思い切ってやりなさい」と声をかけられ、勇気が湧きました。

久原 しっかり説明して、コスト面などメリットを理解してもらおうと、皆さん前向きに取り組んでくれて、最近では意識がすごく変わってきましたね。

櫻井 現在では本社ばかりでなく、各支店やグループ会社にもエコ活動が広がっています。

富田 チームワークも良くて、プロジェクトを通じて後輩たちが成長する姿を見られたのも、私にとっては楽しかったですね。これからは本社周辺の清掃やボランティア活動を通して、ECOからCSRへと活動を広げていきたいと話しています。

ホームページで詳しく紹介しています

▶ 働き活きと働くために
<http://www.toda.co.jp/csr/human/employee.html>

▶ 環境理念と推進体制
<http://www.toda.co.jp/csr/create/vision.html>